※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　数学科

教　科	数学	科　目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新　高校の数学Ａ」　（数研出版）						
副教材等	自作プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

じっくり学べば必ず理解できるようになる。
考える力や創造する力を高めましょう。

２　学習の到達目標

数学の持つ魅力を少しでも感じられるように工夫する。
身近なところにも数学的考えがあることを気付かせる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活との関連を図りながら、基本的な概念を理解し、知識を身に付ける。また、これらを用いて事象を数学的に処理する技能を身に付ける。	様々な事象を考え、知識を活用して物事を数学的に判断する力を身に付ける。さらに、その過程や結果を数学的に表現する。	順列、組合せ、確率などに関心をもつとともに、数学の良さを認識する。また、事象の考察に対して積極的に活用しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	集合	集合の要素の個数 和集合 積集合	a:集合の概念と要素の数え方を理解する。 b:知識をもとに、数学的に事象を比較・判断することができる。 c:具体的な事象の考察に集合の考え方を活用しようとしている。	机間指導 小テスト 考査	机間指導 小テスト 考査	机間指導
	場合の数	場合の数 順列 組合せ	a:順列、組合せの公式を理解し、利用することができる。 b:公式の導出を考える。 c:具体的な事象の考察に順列や組合せを活用しようとしている。	机間指導 小テスト 考査	机間指導 小テスト 考査	机間指導
後期	確率	事象と確率 確率の基本的性質 独立な試行の確率 反復試行の確率 条件付き確率 期待値	a:確率の概念を理解し、様々な試行の確率を求めることができる。 b:具体的な事象から確率を導き出し、比較の手段として用いることができる。 c:具体的な事象の考察に確率の考え方を活用しようとしている。	机間指導 小テスト 考査	机間指導 小テスト 考査	机間指導

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度